

【用語説明】

アルファベット順

ACP (Advance Care Planning)	終末期において起こりうる病状の変化に備えて、医療従事者や患者と家族とともに、患者の医療上の希望、生命維持治療に対する意向、医療に関する代理意思決定者の選定などを行うプロセスのこと。厚生労働省による愛称は「人生会議」
Ai (Autopsy imaging)	遺体にCTやMRIなどの画像診断機器を用いた死因究明システムのこと
AST (Antimicrobial Stewardship Team)	感染症の治療効果を高め、耐性菌の出現を抑えるために、抗菌薬の適正使用に向けて支援するチームのこと
BCP (Business Continuity Planning)	企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のこと
CAPS (Child Abuse Prevention System)	児童虐待に対応する院内の複数の部門が、各々の視点から、児童虐待かどうか、通告等をすべきかどうかなどについて判断し、病院として通告や警察への連絡などを行う組織のこと
CC (Clinical Conference)	臨床カンファレンス
CD (Clostridium difficile)	クロストリジウム・ディフィシル (Clostridium difficile) による抗菌薬関連腸炎のこと
COPD (Chronic Obstructive Pulmonary Disease)	たばこの煙などの有害物質が原因で肺が炎症を起し、呼吸がしにくくなる病気のこと
CPC (Clinico-Pathological Conference)	臨床病理検討会
CRC (Clinical Research Coordinator)	医療機関において、治験責任医師・治験分担医師の指示のもと、治験の進行をサポートする職業のこと
DPC (Diagnosis Procedure)	診断群分類別評価のこと。従来の診療行為ごとに料金を計算する「出来高払い」診療報酬請求方式とは異なり、入院患者の医療資源を最も投入した

re Combination)	病気とその症状・治療行為を基に厚生労働省が定めた1日当たりの金額からなる包括評価部分（投薬、注射、処置、入院料等）と出来高評価部分（手術、麻酔、リハビリ、指導料等）を組み合わせる請求方式のこと
DPC II 群 (平成30年4月より 新名称：DPC特定病院群)	大学病院本院に準じた診療密度と一定機能を有する病院のこと
DMAT (Disaster Medical Assistance Team)	大規模災害や事故などの現場で急性期（概ね48時間以内）に活動できる機動性を持ったチームのこと。専門的な訓練を受けた医師、看護師、業務調整員（医師、看護師以外の医療職及び事務職員）などで構成される。
DWH (Data Warehouse)	意思決定のために、基幹系などの複数システムから、必要なデータを収集し、目的別に再構成して時系列に蓄積した統合データベースで、データ分析や意思決定に役立てること
e-ラーニング	情報技術を用いて行う学習や学びのこと
EBM (Evidence Based Medicine)	臨床試験などの客観的根拠、個々の患者のニーズや価値判断、さらには患者側の経済的負担などを総合的に検討したうえで治療法を決定すること
EPOC (Evaluation system of Postgraduate Clinical Training System)	インターネットを利用した卒後臨床研修の評価・管理システムのこと
ER (Emergency Room)	基本的に全ての救急患者に対応する救急初期診療型で、全ての科の初期診療を行うこと
HCU (High Care Unit)	高度で緊急を要する医療を行うための病室のことで、ICU よりは軽症な患者を収容する。
HIV (Human Immunodeficiency Virus)	人の免疫細胞に感染してこれを破壊し、最終的に後天性免疫不全症候群(AIDS) を発症させるウイルスのこと
ICU (Intensive Care Unit)	救命・生命維持装置を備え、機器により患者の状態を常時監視できる特別病室で集中治療室のこと
ICT (Infection Control Team)	院内で起こる様々な感染症から患者、家族、職員の安全を守るために活動を行うチームのこと
ICT (地域連携 ICT) (Information and Co)	通信技術を活用したコミュニケーションを指し、情報処理だけでなく、インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスなどの総称のこと

mmunication Technology:情報通信技術)	こと
IMRT (Intensity Modulated Radiation Therapy)	専用のコンピュータを使い、照射野の形状を変化させたビームを複数用いて、腫瘍の形に適した放射線治療を行う新しい照射方法のこと。腫瘍に放射線を集中し、周囲の正常組織への照射を減らすことができるため、副作用を増加させることなく、より強い放射線を腫瘍に照射することが可能になる。
IVR (Interventional Radiology)	エックス線透視や超音波像、CT など画像診断装置を使用しながら体内に細い管（カテーテルや針）を入れて病気を治す治療法のこと
JCEP (Japan Council for Evaluation of Postgraduate)	国民に対する医療の質の改善と向上をめざすため、臨床研修病院における研修プログラムの評価や人材育成等を行い、公益の増進に寄与することを目的として 2007 年に設立された機構のこと
OGCS (Obstetric&Gynecologic Cooperative System)	産科救急・母体搬送を円滑に行うための連絡調整システム。搬送の必要性が出た場合、依頼施設はコーディネータに連絡し、このコーディネータが受入病院を探す仕組みとなっている。
M&M カンファレンス (Morbidity&Mortality)	診療の質および安全性を改善する目的で、不幸にして合併症が起きたケース、死亡したケースを多職種で振り返る教訓的症例検討会のこと
MRI (Magnetic Resonance Imaging)	人体に電磁波をあてて断層撮影をする方法のこと
NCD (National Clinical Database)	日本全国の手術・治療情報を登録し、集計・分析することで医療の質の向上に役立て、治療成績の改善を目指すプロジェクトのこと
NHA (Nihon Hospital Alliance)	日本ホスピタルアライアンス。医療機関の経営基盤強化のため、米国型共同購入モデルを範とした病院による病院のための共同購入を構築し、設立母体の異なる幅広い医療機関の参加を得て、経済効果の高い共同購入を推進している。
PCI (Percutaneous Coronary Intervention)	冠動脈狭窄性病変に対してカテーテルを用いて拡張を行う治療のこと
PDCA サイクル (Plan Do Check Action)	Plan (計画)、Do (実行)、Check (評価)、Action (改善) の 4 段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善させること

POLST (Physician Orders for Life-Sustaining Treatment)	生命維持治療のための医師指示書のことであり、主治医が患者自身から、終末期の治療に対する希望を聞き取って保管しておくもの
PSC (Primary Stroke Center:一次脳卒中センター)	脳梗塞に対する血栓溶解療法 (rt-PA 静注療法) が 24 時間 365 日対応可能な施設のこと
QOL (Quality Of Life)	一人ひとりの人生の内容の質や社会的にみた生活の質のことを指し、ある人がどれだけ人間らしい生活や自分らしい生活を送り、人生に幸福を見出しているか、ということ尺度としてとらえる概念のこと
RRS (Rapid Response System)	患者の状態が通常と異なる場合に、現場の看護師等が定められた基準に基づき、直接、専門チームに連絡し早期に介入・治療を行うことで、ショックや心停止といった致死性の高い急変に至ることを防ぐシステムのこと
SNS (Social Networking Service)	人と人とのつながりを促進・支援する、コミュニティ型の Web サイトおよびネットサービス。友人・知人間のコミュニケーションを円滑にする手段や場を提供したり、趣味や嗜好、居住地域、出身校、あるいは「友人の友人」といったつながりを通じて新たな人間関係を構築する場を提供する会員制のサービスで、Web サイトや専用のスマートフォンアプリなどで閲覧・利用することができる。
SU (Stroke Unit)	多職種からなる専属の脳卒中チームが配属され、他疾患と明確に分離された脳卒中患者専用の病棟のこと
t-PA 治療 (tissue-Plasminogen Activator)	血管を詰まらせている血栓（血の固まり）を溶かし、血流を再開することで脳の働きを取り戻すようにする血栓溶解療法のこと
TQM (Total Quality Management)	全員・全体で、医療・サービスの質を継続的に向上させること

あいうえお順

アウトブレイク	感染症について、一定期間内に、ある限られた範囲内あるいは集団の中で、感染者が予想よりも多く発生すること
---------	---

アクシデント	医療事故のこと。医療に関わる場所で、医療の全過程において発生するすべての人身事故で、医療従事者の過誤、過失の有無を問わない。死亡、生命の危険、病状の悪化等の身体的被害及び苦痛、不安等の精神的被害が生じた場合、患者が廊下で転倒するなど、医療行為とは直接関係しない場合、患者だけでなく、注射針の誤刺のように、医療従事者に被害が生じた場合を含む。
遺伝カウンセラー	遺伝医療を必要としている患者や家族に適切な遺伝情報や社会の支援体勢等を含む様々な情報提供を行い、心理的、社会的サポートを通して当事者の自律的な意思決定を支援する保健医療・専門職のこと
イリザロフ法	骨折が治るときのメカニズムを利用して、骨を修復したり延長したりする手術のこと
医療広告ガイドライン	医療若しくは歯科医療に関する広告の規制範囲を周知し、医療機関に対し、広告適正化のための指導を行う目的で定められた厚生労働省の指針のこと
陰圧個室	室内の空気や空気感染する可能性のある細菌が外部に流出しないように、気圧を低くしてある病室のこと
インシデント	医療事故に至る前に気付いたこと。患者に障害の発生しなかった事例のみならず障害の発生した事例、過失の見られるものや不可抗力、また結果だけでなくプロセスの問題も含まれる。
院内助産	病院や診療所において、保健師助産師看護師法で定められている業務範囲に則って、妊婦健康診査、分娩介助並びに保健指導（健康相談・教育）を助産師が主体的に行う看護・助産提供体制としての「助産外来」や「院内助産」を持ち、助産師を活用する仕組みのこと
インフォームドコンセント	治療や臨床試験・治験の内容についてよく説明を受け十分理解した上で、対象者が自らの自由意志に基づいて医療従事者と方針において合意することである。
開放型病床	診療所から紹介された入院患者を、病院の医師と診療所の医師が一緒に診察を行うことのできる病床のこと
カットオフ値	全医薬品中の後発医薬品が存在する薬剤の割合
ガバナンス	統治のあらゆるプロセスのこと
がんゲノム医療	一人ひとりのがんの個性（原因）を明らかにし、患者さんにより適した治療薬の情報をご提供する次世代のがん治療
カンファレンス	医師、看護師、介護士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、薬剤師及び医療ソーシャルワーカーなどの専門職が、分野の枠組みなどを乗り越え、チームで一人の患者さんに対してベストな支援方法を話し合い、検討すること
緩和ケア	生命を脅かす疾患による問題に直面する患者とその家族に対して、痛みやその他の身体的、心理的、社会的な問題、さらにスピリチュアル（宗教的、

	哲学的なところや精神、靈魂、魂) な問題を早期に発見し、的確な評価と処置を行うことによって、苦痛を予防したり和らげることで、QOL (人生の質、生活の質) を改善する行為のこと
気管支サーモプラスティ	重症喘息に対する新規非薬物療法のこと。この治療により、気管支が狭くならにくくなり、喘息発作等の症状が抑制される。
救急告示病院	消防法 2 条 9 項により 1964 年の「救急病院等を定める省令 (昭和 39 年 2 月 20 日厚生省令第 8 号)」に基づき、都道府県知事が告示し指定する病院
救急ワークステーション	医療機関と消防機関が連携し、救急要請に対して救急隊員とともに、必要に応じ医師が同乗して現場に出場するなどの方法により、病院内での救急隊員の知識、技術の向上を目的とした「教育」の拠点のこと
救命救急センター	救急指定病院のうち急性心筋梗塞、脳卒中、心肺停止、多発外傷、重傷頭部外傷など、複数診療科領域の命に係わる重症な患者に対し高度な医療技術を提供する救急医療機関である。
救命救急センター充実段階評価	平成 11 年度より、厚生労働省によって、施設ごとの充実段階評価が開始された。前年の一年間の実績を各施設からの報告のもと点数化し、充実段階 A・B・C として 3 段階に区分し、評価するもの (平成 30 年度からは、評価内容が変更され、S・A・B・C の 4 段階となる)
クリニカルインディケータ (QI)	病院の様々な機能を適切な指標を用いて表したものであり、これを分析し、改善することにより医療サービスの質の向上を図ることを目的とするもの
クリニカルパス	医師、看護師、その他医療スタッフが、共同して実践する治療、検査、看護、処置、指導などの標準的な治療行動計画の流れを示すもの
クリニカルラダー	看護師教育の基本となる枠組みのこと。看護部理念を軸に臨床実践能力、管理能力、教育・研究能力及び対人関係能力の 4 つの領域で構成し、実践能力をわかばからレベルⅣの 5 段階として到達目標を設定している。
後発医薬品	新薬の独占的販売期間 (有効性、安全性を検証する再審査期間及び特許期間) が終了した後に発売され、新薬と同じ有効成分で効能、効果、用法、用量が同一であり、新薬に比べて低価格な医薬品のこと。ジェネリックという。
コージェネレーションシステム	熱源より電力と熱を生産し供給するシステムのこと
個別化医療	患者のタイプにあわせて最適な治療法を選択すること
災害拠点病院	大規模災害における医療確保を目的として、重症、重篤な傷病者を受け入れるなど、災害時の医療救護活動において中心的な役割を担う病院のこと。厚生労働省の基準で、原則として二次医療圏ごとに 1 カ所指定される。救命医療を行うための高度診療機能、被災地からの重症傷病者の受け入れ機能、医療救護班の派遣機能などが求められる。
災害支援ナース	看護職能団体の一員として、被災した看護職の心身の負担を軽減し支える

	よう努めるとともに、被災者が健康レベルを維持できるように、被災地で適切な医療・看護を提供する役割を担う看護職のこと
堺市こども急病診療センター	堺市救急医療事業団が運営する夜間・休日の急な子どもの内科系疾患に対して外来診療を行う診療施設のこと
救急ワークステーション	医療機関と消防機関が連携し、救急要請に対して救急隊員とともに、必要に応じ医師が同乗して現場に出場するなどの方法により、病院内での救急隊員の知識、技術の向上を目的とした「教育」の拠点のこと
サルコペニア	加齢に伴って生じる骨格筋量と骨格筋力の低下のこと
三次コーディネート	「まもってネット」を使ってもなお搬送先が決まらない場合に、本来は救命救急センターへの搬送適応ではないが、協力する複数の救命救急センターが緊急避難的に受け入れるか、搬送先調整を行うもの
ジェネリック医薬品	新薬の独占的販売期間（有効性、安全性を検証する再審査期間及び特許期間）が終了した後に発売され、新薬と同じ有効成分で効能、効果、用法、用量が同一であり、新薬に比べて低価格な医薬品のこと。後発医薬品ともいう。
シャドーイング	新人研修医が先輩研修医とともに行動し、日常診療等の仕事ぶりを見学し、吸収すること。また、行動をともにすることで先輩研修医も指導者として経験を積み相互に成長し合うこと
集学的治療	がんに対し、より高い治療効果を得るため、外科療法（手術）、化学療法（抗がん剤）、放射線療法、免疫療法等から二つ以上の治療方法を組み合わせて行う治療のこと
周産期医療	妊娠満 22 週から出生児満 7 日未満までを「周産期」といい、この時期は母子とも異常が発生しやすく、突発的な緊急事態に備えて、産科、小児科双方から一貫した総合的な医療体制が必要であることから特に「周産期医療」という。
周産期母子医療センター	周産期母子医療センターとは、総合周産期母子医療センターと地域周産期母子医療センターの 2 つの機能のことをいい、総合周産期母子医療センターとは、母体・胎児集中治療管理室（M-F I C U）を含む産科病棟及び新生児集中治療管理室（N I C U）を備えた医療機関。常時、母体・新生児搬送受入体制を有し、母体の救命救急への対応、ハイリスク妊娠に対する医療、高度な新生児医療等を担っており、地域周産期母子医療センターとは、産科・小児科（新生児）を備え、周産期に係る比較的高度な医療行為を常時担う医療機関のこと
小腸カプセル内視鏡	小型カメラを内蔵したカプセル状の内視鏡のこと
新専門医制度	国家試験に合格後、2 年間の初期臨床研修を終えた医師が、内科や外科など 19 の基本診療科から専門領域を選び、3 年程度で複数の病院を回りながら知識や技術を現場で学ぶこと

助産制度	必要があるにもかかわらず、経済的な理由により入院助産を受けることができない妊産婦の方に対し、入院助産に要する費用の全部または一部を公費で負担して、入院助産を受けることができるよう援助すること
精神科身体合併症患者	身体疾患をもちながら興奮や疎通不良などの精神症状のため一般診療科では対応困難な患者のこと
精神科リエゾンチーム	一般病棟におけるせん妄や抑うつといった精神科医療のニーズの高まりを踏まえ、一般病棟に入院する患者の精神状態を把握し、精神科専門医療が必要な患者を早期に発見し、可能な限り早期に精神科専門医療を提供することにより、症状の緩和や早期退院を推進することを目的として、精神科医、専門性の高い看護師、薬剤師、作業療法士、精神保健福祉士及び臨床心理技術者等多職種からなるチームのこと
専門看護師、認定看護師	専門看護師は、日本看護協会の専門看護師認定審査に合格し、特定の専門分野において、卓越した看護実践能力を有すると認められた看護師のこと 認定看護師は、日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有すると認められた看護師のこと
ゾーフィゴ治療	骨転移のある去勢抵抗性前立腺がんの治療薬として、アルファ線（ α 線）と呼ばれる放射線を用いた、骨に転移したがん細胞に対して治療効果を発揮する放射性医薬品のこと
第一種、第二種感染症指定医療機関	「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」において定められた、一類感染症又は二類感染症の患者の入院を担当させる医療機関として都道府県知事が指定した病院のこと
タスク・シフティング	医行為の一部を他職種への委譲すること
タスクフォース	特定の課題を達成するために一時的に設置される組織のこと
ダビンチ	手術支援ロボットの機器の名称。内視鏡カメラとアームを患部に挿入し、執刀する医師はロボット操作の台であるコンソールから、3D モニターを見ながら遠隔操作で装置を動かすと、その手の動きがロボットに伝わり、手術器具が連動して患者に触れることなく手術を行う。
地域完結型医療	地域の中で、それぞれの病院や診療所・クリニック等が、その特長を活かしながら役割を分担し、地域の医療機関全体で1つの病院のような機能を持ち、切れ目の無い医療を提供していこうというもの
地域がん診療連携拠点病院	専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の整備、患者・住民への相談支援や情報提供などの役割を担う病院として、国が定める指定要件を踏まえて都道府県知事が推薦したものについて、厚生労働大臣が適当と認め、指定した病院のこと
地域包括ケア	団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、高齢者が住み慣れた地域

	で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」が切れ目なく一体的に提供されること
地域連携パス	ある疾患に罹患した患者を中心として、地域で医療・介護に関わる人々がそれぞれの役割分担を行い、お互いに情報共有をすることにより、今後の診療の目標や注意点を明確にし、チームで患者を支えてゆくための仕組みのこと
治験	治療試験の略。新薬の効果を確かめたり、既存の薬剤の効果と副作用の追跡調査をしたりするため、患者や健康な人に服用してもらい試す臨床試験のうち、特に製薬会社で開発中の医薬品や医療機器を患者や健康な人に使用してもらい、データを収集して有効性、副作用や安全性を確認する試験をいう、治験は国の基準を満たした医療機関で行われる。
チーム医療	医療技術の進歩と高度医療の普及、患者中心の医療に対するニーズの高まりなどを背景に、医師個人の能力に依存した医療から、医師、薬剤師、看護師などの各医療職の協力によるチームで行う医療のこと
低侵襲手術	手術・検査などに伴う痛み、発熱・出血などをできるだけ少なくする医療。例えば内視鏡やカテーテルなど、身体に対する侵襲度が低い医療機器を用いた診断・治療のこと。患者の負担が少なく、回復も早くなる。
ドクターカー	種々の薬剤や器具を装備し、医師及び看護師が同乗して患者を搬送できる救急車のこと。病院到着までに医師による適切な処置及び医療を行うことができ、救命率の向上が期待できる。
ドクターヘリ	救急医療用の医療機器等を装備したヘリコプターのこと
トリアージ	大事故・災害などで同時に多数の患者が出た時に、手当ての緊急度に従って優先順をつけること
二次まもってネット	消防機関により緊急度が高いと判断された患者で、5件以上の医療機関への照会又は30分以上の現場滞在で搬送先が決まらない場合に、消防機関が複数の医療機関に一斉にシステムを活用して緊急受け入れ要請を行い、医療機関が直ちに受け入れの可否を応答することにより、早期に搬送先医療機関を確保できるようにするシステムのこと
2025年問題	「2025年問題」とは、団塊の世代が2025年頃までに後期高齢者（75歳以上）に達する事により、介護・医療費等社会保障費の急増が懸念される問題のこと
ハートコール	急性心筋梗塞、狭心症、急性心不全等の救急疾患に対応するため、救急車からの電話に担当医が直接対応するシステムのこと
ハイブリッド手術室	手術室と心・脳血管 X線撮影装置を組み合わせた手術室のこと
パンデミック	広範囲に及ぶ流行病のこと
病院機能評価	医療の質と安全の向上を目的として、一定の基準に基づき、中立の立場から医療施設を評価したもの

病床機能報告	地域医療構想の策定にあたり、地域の医療機関が担っている医療機能の現状把握、分析を行う必要性があったことから、平成26年度から開始された制度のこと
プレアボイド	薬剤による有害事象を事前に回避すること
ブレインコール／ブレインオンコール	脳卒中の救急疾患に対応するため、救急車からの電話に担当医が直接対応するシステムのこと。また、急変時にいつでも対応できるように待機していること
プロトコール	あらかじめ定められている規定、手順、治療計画などのこと
ペースメーカーモニタリングシステム	患者に植え込まれているデバイスの情報や心臓の状態を、電話回線を通じて専用のデータベースに送り、担当医師がデータの確認をすることで、早期治療に役立てることができるシステムのこと
ボトムアップ	現場社員からの提案を基に、意思決定していく経営のこと
まもってネット	消防機関が緊急度が高いと判断する患者で、5件以上の医療機関への照会又は30分以上の現場滞在で搬送先が決まらない場合に、消防機関が複数の医療機関に一斉にシステムを活用して緊急受け入れ要請を行い、医療機関が直ちに受け入れの可否を応答することにより、早期に搬送先医療機関を確保できるようにするものである。
メディカルコントロール	傷病者を救急現場から医療機関へ搬送する間に救急救命士が実施する医行為に対して、医師の指示または指導・助言および検証することにより、それらの医行為の質を保証すること
メンター	仕事上（または人生）の指導者、助言者のこと
メンタルヘルス	精神面における健康のこと
リニアック	電気によって高速の素粒子を作り出す装置で、そこから発生するX線や電子線を用いて放射線治療を行なう外部照射装置のこと
レジデンピック	「将来の医療を支える研修医の今と未来を応援するイベント」として、研修医が学んできた知識及び臨床力をクイズ形式で競い合う大会のこと
ロボット支援手術	内視鏡カメラとアームを患部に挿入し、執刀する医師はロボット操作の台であるコンソールから、3Dモニターを見ながら遠隔操作で装置を動かすと、その手の動きがロボットに伝わり、手術器具が連動して患者に触れることなく実施できる手術のこと